

2024 年度 健康栄養学部 FD 活動報告書

2024 年度における健康栄養学部の FD 活動は、全学の FD 方針に基づき、以下の取り組みを中心に実施した。

1. 105 分授業への対応

活動内容と成果

2024 年 12 月から 2025 年 1 月にかけて、各教員において、105 分授業でも効果的な学習が促進される授業デザインの開発を行った。2025 年 2 月に各教員の開発した授業デザインや懸念事項を持ち寄り、検討会を開催した。これにより、講義、実習・実験・演習それぞれの適切な授業時間配分や内容の授業モデルが作成された。本モデルを参考に、各教員において 2025 年度の授業計画・シラバス作成が行われた。

評価

基本となる授業デザインの作成が行われたことから、2025 年度の授業計画作成をスムーズに行うことができた。次年度は、学生の学修状況と理解度を確認し、授業デザインの適性を評価する予定である。また、次年度も継続して優良モデルの開発を進める。

2. 言語スキル向上の連携強化

活動内容と成果

2025 年 8 月から 9 月にかけて、学部全体で教員検討会およびワークショップを開催した。検討会においては、各授業や実習等における文章作成能力向上のための取り組み状況を確認し、学生に必要な文章能力および図表作成力の整理を行った。本検討において、学生に必要な基礎的言語スキルとして、文書構成力や語彙力、思考力の欠如があげられた。また、共通教育センターの言語スキルチームと連携してワークショップを開催し、学生に求める文章力（メール作成）について報告・検討を行った。本ワークショップの成果として、学生向け「メールの書き方に関するチェックリスト」を作成した。

評価

使用頻度の高いメール作成について、学生向けのチェックリストを作成できたことは一定の成果と考えられるが、作成のみにとどまり、学生への周知には至らなかった。今後は、言語スキルの向上が必須で

ある課題レポートや報告書、卒業論文などの作成時に有効なチェックリストの作成を行うとともに各チェックリストを学生に提示していく。引き続き、授業内でのスキル強化の取り組みを推進していく。

3. 卒業研究の評価方法の検討と充実

活動内容と成果

2025 年 10 月に卒業研究・卒論発表会の評価方法および公開発表の実施について検討会を行った。卒業研究および卒論発表会の評価については、昨年度と同様の評価内容とすること、また、卒論発表会は学内に周知し、公開発表会とすることを決定した。10 月 22 日に実施した発表会においては、他学部の教員の参加もあり、活発な討論が行われた。本卒業研究発表と卒業論文に対する各教員の評価を取りまとめ、最優秀賞、優秀賞の選定・表彰を行った。

評価

卒論発表会において、学生自身が学部教員のみならず他学部の教員からの質疑応答や評価を受けることで、課題認識が深まり、自信につながった。また、卒業研究のうち 3 題を学外研究会等において発表することができている。今後もこの取り組みを継続し、さらに充実させていく予定である。

4. 国家試験に向けた学習支援の強化

活動内容と成果

2024 年 6 月から 2025 年 3 月において、各月の学部教授会時に国家試験サポートについての検討会を行った。また、今年度新たに導入した、e-ラーニングシステム「ESS」の使用方法について、10 月（教員向け）、12 月（学生向け）にそれぞれ説明会を行った。加えて、夏期・冬期集中補習講座の対象者と実施方法について検討を行うとともに個別面談を実施した。各決定事項と個人の要望に基づき、補習講座を 9 月、12 月に実施した。2025 年 3 月には、次年度の国試対策として、推奨参考書や自己学習方法の教示、受講対象者の選定方法、学事暦変更に伴う長期休みの活用について検討を行った。

評価

新たに導入した、e-ラーニングシステム、個別指導および面談、成績不良者への重点指導などにより学生の模試成績が向上した。本成果もあり、第 39 回管理栄養士国家試験では 100%の合格を

達成している。学事暦変更に対応した国家試験対策や下級生の学習習慣定着のための対策については、引き続き検討し充実させていく予定である。